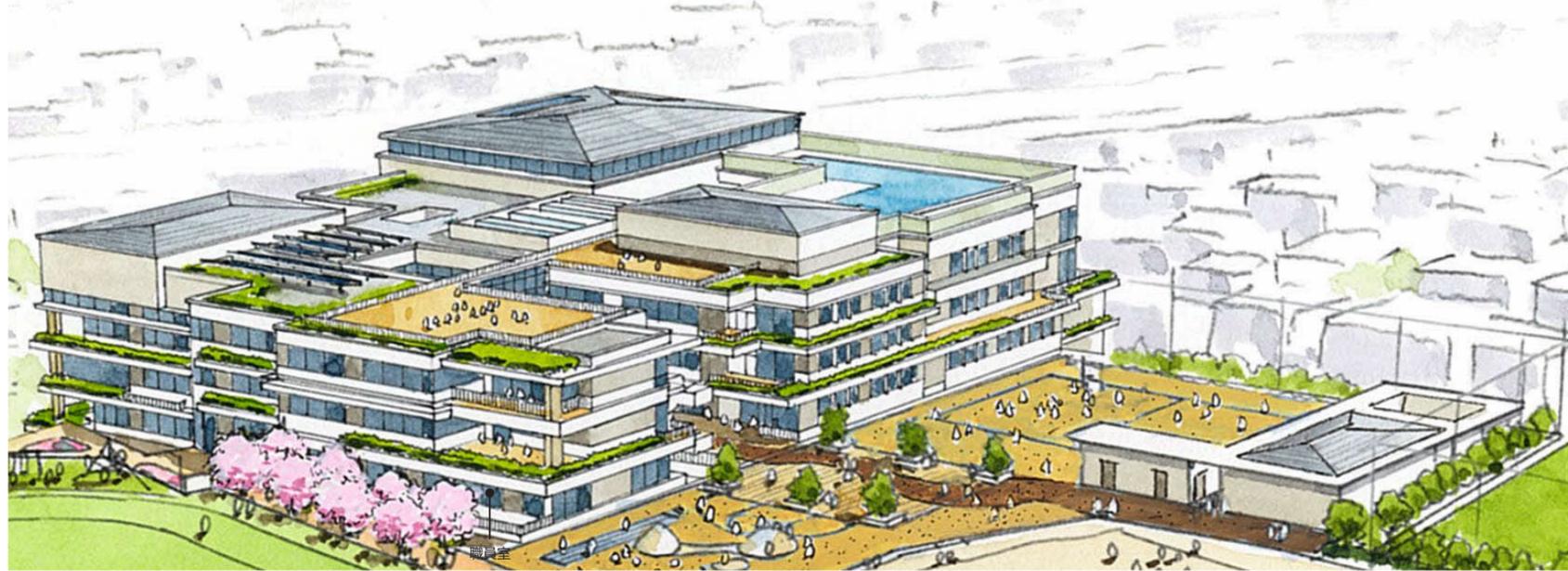


私たちは、この学校が川と生きるまちの人と人をつなぐ場となり、地域・保護者や民間企業が連携・協働してたくましく生きる子どもたちを守り育てる、新しい時代のコミュニティスクールとなることを目指します。
義務教育学校の特性を生かしたヒト・コト・モノの多様な出会いが学びを触発するワクワク感いっぱいの学習環境をつくります。
淀川の眺望や自然を効果的に取り込み原風景として子どもたちの心に残る成長の場となることを目指します。



コンセプト2

多様なヒト・コト・モノと出会う、学ぶワクワクが充満する学び舎

お気に入りの場所で学ぶ、ひだまりライブラリー（第1ステージ）

- ・中庭に面したひだまりライブラリーを第1ステージの学年コモンスの中心に配置し、1・2階を吹抜でつなぎます。児童が多様なメディアを使って学習する第一歩として、本を好きになり、様々な分野の知識にふれながら、お気に入りの場所を見つけて学べる場とします。
- ・フルオープンの間仕切りでランチルーム（多目的室）や中庭とつながり、思い思いの場所で本に親しむことができる設えとします。



●ひだまりライブラリーのイメージ

様々な学びの活動が連続するメディアセンター（第2・3ステージ）

- ・読む、調べる、議論、つくる、表現、振り返りなどの循環型アクティブラーニングが実践できる場としてメディアセンターを学校の中心に配置し、上下階が吹抜や大階段でつながることによって、ICTを活用した多様な学びと活動を支えます。
- ・メディアセンターが活動の中心となることで、学年を越えた交流の場となります。上級生が下級生の学習をサポートしたり、下級生は上級生の学びに一歩チャレンジしたり、学びを通じた交流が自然に生まれます。



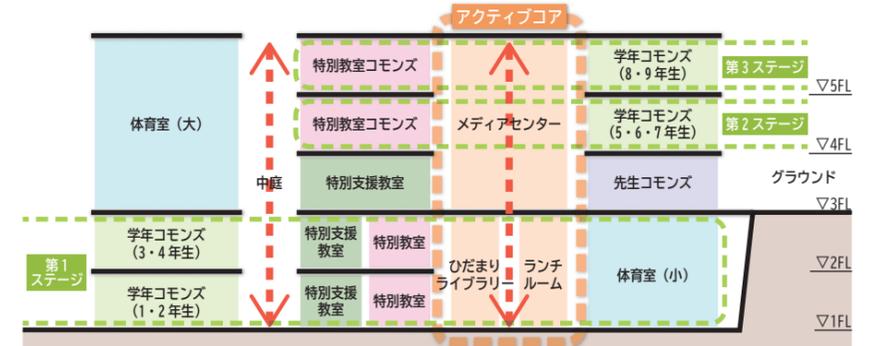
●メディアセンターのイメージ

コンセプト1

まちと川をつなぎ、人と人がつながる出会いと成長の場

9年間の学びとつながりを育む学校

- ・普通教室は1階に1・2年生、2階に3・4年生、4階に5・6・7年生、5階に8・9年生を学年のまとまり（学年コモンス）ごとに配置する構成とします。4-3-2の発達段階に応じたステージ運営により近隣学年との横のつながりを強くする計画とします。
- ・建物中央の中庭とアクティブコアが上下のつながりと視線の抜けをもつ、学校全体が一体となった学びの場を目指します。
- ・3階はグラウンドと同じレベルとし、上階に配置した学年の昇降口のほか、職員室、保健室など学校に通うみんながウェルビーイングに毎日過ごせるベースフロアとします。



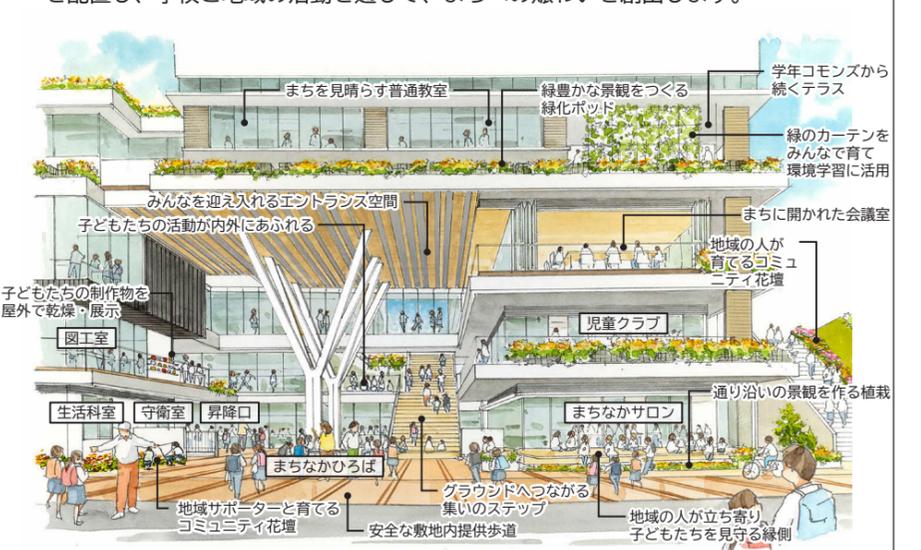
●縦と横のつながり、交流を生み出す構成

コンセプト3

地域・保護者・民間企業と連携・協働し、子どもたちの生きる力を育む学び舎

学校から地域へ活動が広がるまちなかひろば

- ・統合後の学区全体からの通学路を考慮し、敷地北東部を学校のエントランス空間（まちなかひろば）とします。
- ・地域コモンスに面してまちなかひろばを配置し、地域の方が利用しやすい活動の拠点とします。
- ・まちなかひろばに面して、地域利用が可能なランチルームや家庭科室、生活科室を配置し、学校と地域の活動を通じて、まちへの賑わいを創出します。



●まちなかひろばイメージ